

## ○総合戦略について

東京圏への一極集中が続く中、国は平成 26 年度に「地方創生」をスローガンに掲げ、地方の活性化と人口減少対策の取り組みが始まりました。その一環として、平成 26 年9月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、同年 12 月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、これを実現するための具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。現在は第2期目がスタートしています。

このような中、本市においても人口の現状と将来の展望を示す「地方人口ビジョン(以下、「人口ビジョン」と言う。)」と、地域の実情に応じた5か年の施策の方向を示す「地方版総合戦略(以下、「総合戦略」と言う。)」を策定し、地方創生に向けた様々な取り組みを行っています。

### <人口ビジョン>

人口ビジョンは、本市の人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示すものです。また、人口ビジョンは市の施策の効果と密接に関連するため、長期的推計として、各行政分野の個別計画等においても活用されることになります。

### <総合戦略>

総合戦略は、「人口ビジョン」を踏まえ、今後5か年の政策目標や施策の基本的方向、具体的な取り組みをまとめた計画です。基本的な考え方として、人口減少と地域経済縮小を克服するため、若い世代が安心して働ける環境整備、地方への移住・定住の促進や安心して子育てできるような施策の支援、地方で安心して暮らせるように各地域の特性に即した地域の課題解決など、地方における自律的好循環の確立を目指します。

次頁に、本市の人口ビジョンと総合戦略の内容を簡単に記載しています。人口ビジョンには、3つの『目指すべき将来の方向性』を示し、人口の減少幅を緩やかにして、2065年の目標人口は33,000人を確保するとしています。この人口ビジョンを踏まえ、総合戦略では『4つの基本目標』を掲げ、地域の特性を活かした様々な施策を行うことで、市の将来像である安心・安全の癒しの里の実現に向け取り組んでいます。

## ■菊池市の人口ビジョン

[目指すべき将来の方向性]

- ①合計特殊出生率を2040年までに2.10まで上昇させることを目指す。
- ②2040年を目途に社会動態±0を目指す(人口の流入促進と流出抑制)。
- ③地域資源を活かした産業と観光を柱とした関係人口の増加を図る。

[長期人口ビジョン]

・2065年の目標人口は、33,000人を確保する。



## ■菊池市の総合戦略

[目指すゴール]：癒しの里の実現

[対象期間]：令和2年～令和6年(5年間)

[4つの基本目標]

- 1 菊池の宝を発信し、ひとが繋ぐ“交流のまち”へ
- 2 稼ぐ力の創出で“働きたいまち”へ
- 3 人を大切にし“一人ひとりが輝くまち”へ
- 4 安心・安全な“住みやすいまち”へ

## <総合計画と総合戦略の関係>

総合計画は、総合的な市政運営の基本方針を示した本市の最上位計画となりますが、総合戦略は、前述のように「まち・ひと・しごとの創生」に特化し、総合戦略の根幹となる人口減少対策、地域産業の振興に関する施策をより重点的に取り組む計画となります。

そのため、第3次総合計画の策定にあたっては、重点的な施策として総合戦略を位置づけ、総合計画と一体的な内容となるように改定していきます。

## 【現行計画のイメージ】

